

かごしま1.5°Cライフスタイル ワークショップ

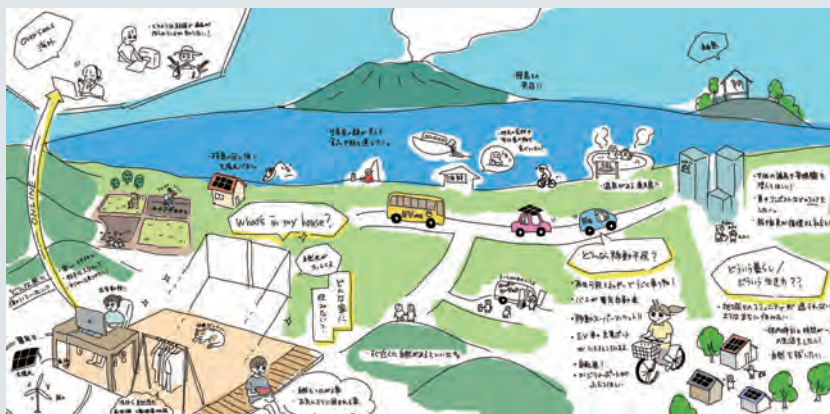
2021年11月～2022年1月

2022年8月～2022年10月

はじめに

鹿児島市は、九州の南端に位置する鹿児島県本土のほぼ中央部にある、人口60万人を擁する中核市です。九州の自治体としては最も早い時期である2019年12月に「ゼロカーボンシティかごしま」宣言を行いました。それ以降、地元企業18社との官民連携プラットフォーム「ゼロカーボンシティかごしまパートナー」を立ち上げてCO2削減に向けた取り組みや情報発信を進める他、若者向けのワークショップ「かごしまゼロカーボンラボ」を開催し、自らができることを考え、イベントを企画、実施まで行う参加型のプログラムを実施するなど、官民連携の形でゼロカーボンシティに向けた取り組みを進めてきました。

こうした地域の盛り上がりを踏まえ、IGESは、2021年度から、鹿児島県や鹿児島市、地域のステークホルダーの協力を得て、



鹿児島市で1.5°Cライフスタイルワークショップを開始しました。第2回目は、若者（15～29歳の年齢層）を対象に開催し、ゼロカーボンシティに向けた社会システム変革のアイデアを行政や事業者へ提案し、対話することを目指しました。

1.5°Cライフスタイルの活用



STEP1は、「地球環境について知り、わたしの1.5°Cライフスタイルを考える」をテーマに、レクチャーとグループワークを行いました。冒頭に、地域で活動している環境活動家からインスピレーショントークを提供し、行動変容の機運を高めました。

グループワークでは、参加者が思い思いの価値観を共有し、2050年に住んでいたい鹿児島の未来の生活イメージを付箋に書いていきました。それらの言葉をビジュアル化し、かごしまの未来像を描きました。

STEP2では、脱炭素ライフスタイルオプションカタログに示されているオプションから好きなものを選び、各自が脱炭素ライフスタイルチャレンジに取り組みました。

STEP3では、脱炭素ライフスタイルチャレンジで成功した理由や続かなかった理由を共有しました。私たちにできること、また、私たちが継続するには社会的な障害があり、企業や自治体などに求めることに整理しました。鹿児島市からは、市が抱える課題（運輸、電気部門）について現状を聞き、個人から社会へ視点を広げました。

STEP4では、参加者から、自分ができることと社会へ望むことについて発表を行い、同席した行政や事業者からは、コメント、助言、感想、情報提供などで応え、対話を行いました。最後には、参加者全員が一つの円を描いて座り、気づきや感想を共有して終了しました。



1.5°C Lifestyles

脱炭素型のライフスタイル

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/1p5deg-lifestyles>

公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口2108-11
Tel: 046-855-3700 E-mail: iges@iges.or.jp